

## 会議結果（要旨）

会 議 名	平成27年度第3回音更町介護保険事業等運営協議会
開 催 日 時	平成27年12月14日（月） 午後7時から午後8時30分
開 催 場 所	音更町保健センター 検診室
委 員 出 席 者	森川会長、田中会長代理、河田さえ子委員、河田稔委員、恩田委員 向平委員、鷺北委員、村中委員、正保委員、藤川委員、林委員 伊藤委員、堀委員、長村委員、山田委員
事 務 局 出 席 者	古田保健福祉部長、谷川保健センター事務長、重松高齢者福祉課長、 傳法高齢者福祉課参事、前田高齢者福祉課主幹、渡辺高齢者福祉課主幹 背戸田介護保険係長
議 題 内 容	1 開会 2 議題 会議録署名委員の指名 3 報告第1号 地域包括ケアシステムの構築に向けた介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）の実施について 4 その他
会 議 資 料	なし
会 議 結 果	会議録署名委員の指名 藤川委員、正保委員 報告第1号 事務局より報告
出された主な意見等	○報告第1号 委 員：中学校単位の日常生活圏域とあるが、範囲の差が大きすぎるのではないかと。 事務局：一律のサービス提供ではないため、地域にあった内容で実施していく。 委 員：生活支援体制整備事業の進行状況は。 事務局：今後、進めていく予定。 委 員：家族を支える仕組みは。 事務局：協議体の中で、家族を支援するサービスが必要だと判断すれば構築していくことになる。 委 員：介護に対するイメージが悪く、資格を持っていても働いていない専門職への対策は。 事務局：仕事の内容よりも職場内の人間関係からの離職も多い。人件費のための介護報酬の増額改定もあり、夜勤負担の軽減のため、担い手は活用していきたい。 委 員：町内会自体が弱体化している中で、生活支援等を地域にお願いすることは可能なのか。ますます町内会が疲弊するのは。

様式 4

	<p>事務局：すべてではなく、協力をいただける町内会やボランティア活動をしている人に対しお願いしていく。</p> <p>委員：社協や老人クラブで担うことができるのか不安だ。</p> <p>事務局：地域を支えることで、生き甲斐や健康寿命の延伸等、自分自身のメリットにもなる。また、完全に無償ではなく、有償のボランティアがあることもあわせ、周知していくことが必要だ。</p> <p>委員：実施するにあたり、書類の作成等、事務的な負担はどうか。</p> <p>事務局：みなし移行であれば、簡単な手続きで移行が可能。</p> <p>委員：地域の実情や課題等をどこまで把握しているのか。</p> <p>事務局：生活支援コーディネーターを募り、地域資源や課題の洗い出しをお願いしたい。</p> <p>委員：大変なイメージを付けてしまうと移行に時間がかかるのでは。</p> <p>事務局：多様なサービスは、2025年を目処に作り上げていくが、時間がかかる内容なので、一日も早く移行したい。</p>
お問い合わせ先	<p>保健福祉部地域包括支援センター高齢者福祉課介護保険係 (0155-32-4567)</p>

町ホームページへの掲載	掲載日（平成28年3月3日）
-------------	----------------